



## 平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月14日

上場会社名 株式会社 エスケイジャパン 上場取引所 東  
 コード番号 7608 URL <http://www.sk-japan.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 八百 博徳  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 野崎 伸一 TEL 06-6765-0670  
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月15日 配当支払開始予定日 平成26年11月14日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績（平成26年3月1日～平成26年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	3,820	16.5	△115	—	△116	—	△14	—
26年2月期第2四半期	3,279	△24.8	△121	—	△116	—	△114	—

(注) 包括利益 27年2月期第2四半期 △10百万円 (—%) 26年2月期第2四半期 △114百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	△1.71	—
26年2月期第2四半期	△13.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年2月期第2四半期	3,942	1,702	42.7	204.54
26年2月期	3,464	1,740	49.6	208.86

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 1,683百万円 26年2月期 1,718百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	6.00	—	3.00	9.00
27年2月期	—	2.50	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成27年2月期の連結業績予想（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,841	△2.6	△97	—	△97	—	△34	—	△4.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（平成26年10月14日）公表いたしました「特別利益・特別損失の計上および平成27年2月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年2月期2Q	8,363,103株	26年2月期	8,363,103株
② 期末自己株式数	27年2月期2Q	134,087株	26年2月期	134,006株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年2月期2Q	8,229,038株	26年2月期2Q	8,225,187株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は3,820百万円（前年同期比16.5%増）、営業損失は115百万円（前年同期は121百万円の営業損失）、経常損失は116百万円（前年同期は116百万円の経常損失）となりましたが、当社の創業者であり前代表取締役社長であった久保敏志が平成26年5月20日に逝去したことに伴い、受取保険金等が特別利益に122百万円及び社葬費用等が特別損失に15百万円計上したことにより、四半期純損失は14百万円（前年同期は114百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

## &lt;キャラクターエンタテインメント事業&gt;

アミューズメント部門におきましては、これまでグループ各社の部門ごとに行っていた生産管理及びキャラクターの権利取得をグループで一元管理する体制に移行し、業務効率の向上及びキャラクター契約のスピードアップを進め、競合他社と差別化できる商品づくりを推進してまいりましたが、移行して6ヶ月しか経過しておらず、業績向上には十分な成果を上げておりません。商品面では、特に第1四半期好調であった「ted」や前期より引き続き好調な「おさるのジョージ」等が寄与し、売上高は1,839百万円（前年同期比23.0%増）となりました。

SP（セールスプロモーション）部門におきましては、当期の取り組みでもある新規得意先獲得もある程度の成果はありましたが、前期好調であったムック本が鈍化したこと等により、売上高は369百万円（前年同期比11.6%減）となりました。

利益面では、売上高の増加ならびに固定費の削減等を行いました。現状の商品の価値を厳密に評価し直した結果、過剰在庫商品の在庫評価損をさらに拡大したことにより、営業損失となりました。

以上の結果、売上高は2,209百万円（前年同期比15.4%増）、営業損失は126百万円（前年同期は130百万円の営業損失）となりました。

## &lt;キャラクター・ファンシー事業&gt;

当事業におきましては、ゲーム、コミック及びアニメなどで展開されたキャラクターが大ブームとなり、多くの得意先の店頭へ導入できたことに加え、映画のヒットの影響によりアニメキャラクターのグッズの売上も大きく伸長しました。また、店頭イベントが好調なゆるキャラも引き続き好調に推移しました。

以上の結果、売上高は1,610百万円（前年同期比18.0%増）、営業損失は13百万円（前年同期は14百万円の営業損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①財政状態

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて478百万円増加し、3,942百万円となりました。これは主に、保険積立金の減少額（投資その他の資産「その他」）189百万円により一部相殺されたものの、現金及び預金の増加額123百万円、受取手形及び売掛金の増加額386百万円、電子記録債権の増加額42百万円及び商品の増加額90百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて516百万円増加し、2,240百万円となりました。これは主に、買掛金の増加額454百万円及び未払金の増加額35百万円（流動負債「その他」）によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて37百万円減少し、1,702百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少額38百万円によるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて123百万円増加し、765百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、64百万円（前年同期は104百万円の使用）となりました。

これは主に、売上債権の増加額428百万円、受取保険金114百万円及びたな卸資産の増加額90百万円があったこと等により一部相殺されたものの、仕入債務の増加額453百万円、減価償却費32百万円（営業活動のキャッシュ・フロー「その他」）及び保険金の受取額200百万円があったこと等を反映したものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は、82百万円（前年同期は3百万円の使用）となりました。

これは主に、無形固定資産の取得による支出18百万円があったことにより相殺されたものの、保険積立金の払戻による収入17百万円及び保険積立金の解約による収入90百万円があったこと等を反映したものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、24百万円（前年同期は0百万円の獲得）となりました。

これは主に、配当金の支払額24百万円があったこと等を反映したものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の状況を勘案し、当初の業績予想を修正いたしました。詳しくは本日（平成26年10月14日）公表いたしました「特別利益・特別損失の計上および平成27年2月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	642,454	765,563
受取手形及び売掛金	898,332	1,284,943
電子記録債権	96,658	139,006
商品	374,734	465,604
繰延税金資産	3,922	9,588
その他	85,156	104,113
貸倒引当金	△4,481	△8,485
流動資産合計	2,096,777	2,760,333
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	516,195	516,195
減価償却累計額	△177,906	△185,194
建物及び構築物（純額）	338,288	331,000
車両運搬具	11,858	8,467
減価償却累計額	△10,401	△7,515
車両運搬具（純額）	1,457	951
その他	102,607	113,496
減価償却累計額	△79,799	△89,101
その他（純額）	22,808	24,394
土地	539,494	539,494
有形固定資産合計	902,048	895,841
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	59,779	60,118
繰延税金資産	1,446	1,088
その他	295,655	122,695
貸倒引当金	△7,910	△14,161
投資その他の資産合計	348,971	169,740
固定資産合計	1,367,533	1,182,514
資産合計	3,464,310	3,942,848

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	483,667	937,887
短期借入金	920,000	920,000
未払法人税等	1,206	9,334
繰延税金負債	511	—
賞与引当金	30,169	16,667
その他	136,033	211,289
流動負債合計	1,571,589	2,095,178
固定負債		
繰延税金負債	7,657	10,444
役員退職慰労引当金	144,396	134,440
長期預り保証金	218	218
固定負債合計	152,271	145,102
負債合計	1,723,861	2,240,281
純資産の部		
株主資本		
資本金	441,550	441,550
資本剰余金	472,489	472,489
利益剰余金	846,447	807,711
自己株式	△51,244	△51,265
株主資本合計	1,709,243	1,670,487
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,312	14,802
繰延ヘッジ損益	△2,827	—
為替換算調整勘定	△1,974	△2,131
その他の包括利益累計額合計	9,510	12,671
新株予約権	21,694	19,409
純資産合計	1,740,449	1,702,567
負債純資産合計	3,464,310	3,942,848

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	3,279,751	3,820,254
売上原価	2,457,537	2,994,549
売上総利益	822,213	825,704
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	355,093	322,414
賞与引当金繰入額	33,539	16,667
退職給付費用	11,461	12,397
役員退職慰労引当金繰入額	3,590	27,278
貸倒引当金繰入額	891	10,486
その他	539,595	552,006
販売費及び一般管理費合計	944,170	941,250
営業損失(△)	△121,956	△115,545
営業外収益		
受取利息	57	62
受取配当金	754	632
受取家賃	2,701	2,719
為替差益	1,293	—
賃貸収入	1,015	3,425
その他	2,582	3,538
営業外収益合計	8,402	10,378
営業外費用		
支払利息	2,508	3,791
為替差損	—	1,897
賃貸原価	—	3,611
その他	132	1,740
営業外費用合計	2,641	11,040
経常損失(△)	△116,195	△116,207
特別利益		
固定資産売却益	—	981
新株予約権戻入益	772	2,462
受取保険金	—	114,853
保険返戻金	—	3,743
特別利益合計	772	122,040
特別損失		
固定資産除却損	—	3,546
社葬費用	—	11,597
特別損失合計	—	15,144
税金等調整前四半期純損失(△)	△115,423	△9,311
法人税、住民税及び事業税	1,194	7,126
法人税等調整額	△2,365	△2,389
法人税等合計	△1,171	4,736
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△114,251	△14,048
四半期純損失(△)	△114,251	△14,048

（四半期連結包括利益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△114,251	△14,048
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△655	489
繰延ヘッジ損益	△106	2,827
為替換算調整勘定	103	△156
その他の包括利益合計	△658	3,160
四半期包括利益	△114,910	△10,888
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△114,910	△10,888
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△115,423	△9,311
賞与引当金の増減額(△は減少)	△602	△13,502
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,590	△9,955
貸倒引当金の増減額(△は減少)	448	10,255
受取利息及び受取配当金	△811	△694
支払利息	2,508	3,791
固定資産売却損益(△は益)	—	△981
受取保険金	—	△114,853
保険返戻金	—	△3,743
固定資産除却損	—	3,546
売上債権の増減額(△は増加)	△227,201	△428,948
たな卸資産の増減額(△は増加)	△24,184	△90,844
仕入債務の増減額(△は減少)	219,463	453,562
その他	48,792	52,179
小計	△93,420	△149,500
利息及び配当金の受取額	833	712
利息の支払額	△2,535	△3,798
保険金の受取額	—	200,000
法人税等の支払額	△32,429	△2,094
法人税等の還付額	22,858	19,238
営業活動によるキャッシュ・フロー	△104,693	64,556
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の売却による収入	—	1,074
有形固定資産の取得による支出	△21,540	△5,441
無形固定資産の取得による支出	△13,720	△18,963
貸付金の回収による収入	33,693	—
保険積立金の払戻による収入	—	17,558
保険積立金の解約による収入	—	90,314
その他	△1,722	△1,605
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,290	82,936
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	50,000	—
自己株式の取得による支出	△16	△20
配当金の支払額	△49,233	△24,702
財務活動によるキャッシュ・フロー	749	△24,723
現金及び現金同等物に係る換算差額	△360	337
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△107,594	123,108
現金及び現金同等物の期首残高	694,987	642,454
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△13,039	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	574,354	765,563

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間（自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,914,599	1,365,152	3,279,751	—	3,279,751
セグメント間の 内部売上高又は振替高	72,870	50,748	123,619	(123,619)	—
計	1,987,469	1,415,901	3,403,371	(123,619)	3,279,751
セグメント損失(△)	△130,006	△14,159	△144,166	22,209	△121,956

(注) 1. セグメント損失の調整額22,209千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間（自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,209,713	1,610,540	3,820,254	—	3,820,254
セグメント間の 内部売上高又は振替高	59,622	31,969	91,592	(91,592)	—
計	2,269,336	1,642,510	3,911,846	(91,592)	3,820,254
セグメント損失(△)	△126,168	△13,959	△140,128	24,582	△115,545

(注) 1. セグメント損失の調整額24,582千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。